

# 09' つべつ雪まつり



2月7日、8日の2日間、でてこいランド横の広場で雪まつりが開催されました。昨シーズン5年ぶりに復活した雪まつりは、今年も青年グループ「つべつべGROW」をはじめ、NPO法人「北海道でてこいランド」や自治会連合会などが中心となり、多くの団体の協賛を得て準備が進められてきました。

7日の前夜祭では、町民の協力で作られた数多くのアイスクャンドルに明かりが灯されると、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。昨年、台湾の二水郷との親善で始まった天燈が今年も夜空高く打ち上げられ、また、屋台村や雪をブロック状に固め積み上げたイグルーの中では「かまくらBER」がオープンし、温かな飲み物も出されていました。

8日の本まつりは、大勢の家族連れが次々と訪れ、氷で作られた滑り台ではちびっ子たちが歓声をあげながら何回も滑り降りていました。また、「ジャンケン大会」や「雪上ホッケー」、雪に差した旗を奪い合う「スノーフラッグ」、丸太のそりを引く「BANB Aドラッグレース」など行われ、息を切らしながら懸命に疾走する姿に、観客から笑いやかな声援が送られるなど、2日間のまつりは大いに盛り上がりました。



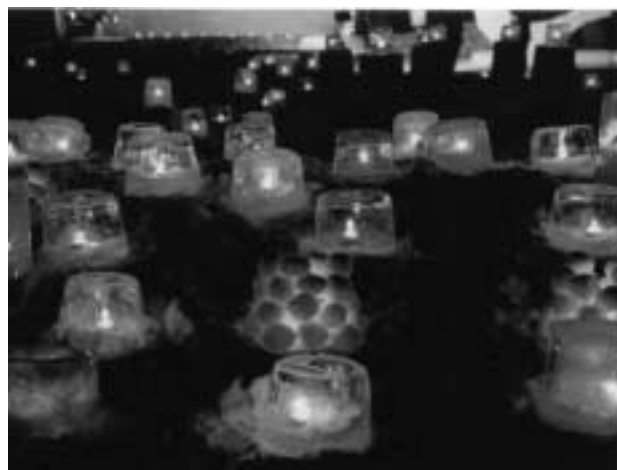
決死のダイブで優勝を目指しました！



屋台村では焼き鳥や焼きそば、うどんなどが出されました。



ステージでは山鳴太鼓が披露され、勇壮な太鼓の音が会場内に響きわたっていました。



アイスクャンドルのやわらかな光が会場をつつんでいました。



でてこいランド内では「つべつなんでも写真展」や身近な食材を使ったアイデア料理やオリジナルケーキが出品された「たべまな市」が開かれました。



最後の上り坂は選手全員を苦しませていました！

## ニュージーランド派遣事業に10年間協力 過去の参加者とタニアさんが交流



元津別町の国際交流員で約3年間津別町で勤務し、平成10年から始まった海外研修派遣事業で、毎年ホームステイ受入れ家庭探しなどに協力してもらったタニア・ダビッドソンさんがこのたび8年ぶりに津別町を訪れました。その機会に海外研修参加者との懇親会を行い、当時の生徒16人が出席し、タニアさんとおしゃべりをしたり、各年の参加者の写真を見るなど、楽しい時間を過ごしました。

タニアさんは「この経験から何かを感じてこれからの人生に活かしてくれたらうれしいです」と話してくれました。タニアさん、長い間ありがとうございました。

節分の日の2月3日、津別保育所で豆まきが行われました。子どもたちはこの日のために作った鬼のお面をかぶって記念撮影をした後、先生から豆まきの由来について話を聞きました。そして、絵本『おなかのなかにおにがいる』を読んでもらい、読み終わると鬼が登場。突然現れた鬼にびっくりした様子の子もたちは一斉に「おにはーそと」と大きな声で叫びながら豆を鬼に投げていました。中にはあまりの迫力に泣き出す子どもも数人いましたが、鬼を退治した後には豆を拾っておいしく食べました。



「おにはーそと、ふくはーうち」節分の豆まきを行いました！

## 妊婦エントリーネット119(妊婦事前登録者情報届出)の登録について

消防署では平成21年4月1日より、妊婦エントリーネット119(妊婦事前登録者情報届出)の登録を開始します。妊婦の皆さんの不安を少しでも解消するため、この届出を利用することにより、「出産時の陣痛や破水等」が見られ、自己又は関係者で病院へ搬送するための適切な手段がない場合や、救急車でなければ搬送できない場合には、救急車にて迅速に搬送いたします。

妊婦事前登録者情報届出書は、消防署で手続きを行いますので、お手数ですが消防署まで来署してください。

